

# 今 津 日 赤 だ よ り



表紙写真 「訪問看護ステーションスタッフ」

## 基本理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

## 基本方針

1. 地域医療  
地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。
2. 全人的医療  
病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。
3. 医療と福祉の架け橋  
医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。

## TOPICS

- |                  |     |
|------------------|-----|
| 認知症ケアチームのご紹介     | 1~2 |
| 今津福祉村納涼盆踊り大会     |     |
| 熊野神社夏祭り          | 3   |
| 熊本地震災害における救護活動報告 | 4   |
| 当院の感染対策活動について    | 5   |
| 第1回 連携病院リレー紹介    | 6   |



日本赤十字社

今津赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

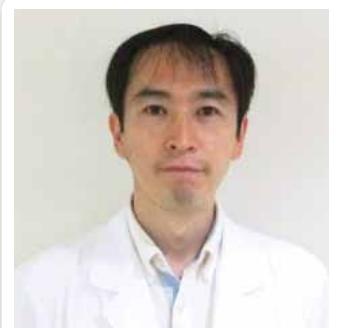


# 認知症ケアチーム

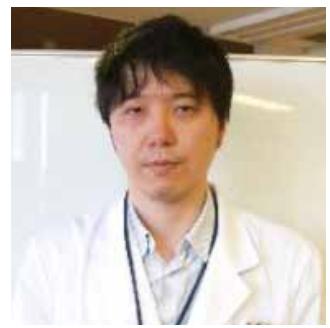
今年度から認知症症状をもつ患者様が、身体疾患の治療をスムーズに受けられ、安心して安全に入院生活を過ごすことができるよう、各病棟を回っています。

多職種で構成されていますので、より多面的に、より専門的に患者様やご家族のことを捉え、患者様にとっての最適な環境調整やかかわり方などを見つけていきたいと考えています。

## ・スタッフ紹介



精神科部長 勝治 一夫



精神科医師 古賀 勝治



認定看護師 濱崎 しのぶ



精神保健福祉士 高野 麻衣子



作業療法士 白澤 亮

認知症の方が身体疾患を患った際に、認知症に伴う精神症状が問題となることがあります。当院では以前より内科、精神科が協力して取り組んできました。

平成28年4月から国の後押しもあり、新たに認知症ケアチームによる回診を始めました。認知症ケアカンファ・回診は認知症専門医、認知症看護認定看護師、精神保健福祉士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、病棟看護師などで行っています。毎週、病棟に直接出向き、患者様に会い、言葉を交わします。多業種が連携し、それぞれの専門的な知恵を出し合い、精神症状の予防、治療だけでなく看護、介護などの工夫をしていきます。



## ・認知症ケアカンファ・回診

### ある日の回診

『レビー小体型認知症の患者様で、転倒防止用離床センサーのコードを引っ張ったり、ベッド柵を外す行為が続いている。また、午後からは表情も陥くなっている』と、病棟看護師より情報提供がありました。

途中から主治医も参加し、コードを引っ張る理由は何か？ベッド柵を外すと転落に至るのか？など環境調整について意見交換をしました。また、精神科医から主治医へ薬剤の提案もされました。

カンファレンスの様子



回診の様子



カンファレンスや回診での検討内容は、その後の病棟でのより良いケアに活かされます。



## ・研修会

### 認知症ケアのスペシャリストを目指して

当院は認知症の人とその家族に寄り添っていきたいと考えています。皆さんのすぐ傍にいる看護師、介護士へは年に数回認知症ケアの研修を行っています。

認知症の方は、快適と思える環境を自らつくったり、不安な気持ちを言葉で伝えたり、自分で自分をすることをする事が少しずつ難しくなっていきます。そのため、周囲のサポートが必要となります。研修では、私たちが認知症のことを正しく理解し基本的なケアのあり方を学んでいます。

認知症の人が安心して治療を受けられ快適に過ごせるようにお手伝いをしたり、一人一人にあつた関わりができるることを目指しています。



平成  
28年度

# 今津福祉村納涼盆踊り大会 熊野神社夏祭り

7月28日熊野神社にて夏祭りを、8月18日には、福岡市立松濤園にて今津福祉村納涼盆踊り大会が開催され、多くの地域住民の方々が訪れにぎわいました。

当院は、例年同様、夏祭りでは「あげタコ」、盆踊り大会では、大寿園と共同で「スーパーぼールすくい」を出店し、地域の皆様と交流を深めました。

## 熊野神社夏祭り



～お祭りの様子～



～あげタコ販売～



## 今津福祉村納涼盆踊り大会



～お祭りの様子～

## 盆踊りの様子



スーパーぼール  
すくい



# 熊本地震災害における救護活動報告

## 救護班派遣状況

4/16~4/18 3日間	4/25~4/30 6日間	4/29~5/4 6日間	5/7~5/12 6日間	5/23~6/5 14日間	6/10~6/15 6日間	6/17~6/22 6日間
<b>第1次派遣</b> 益城町総合運動公園へ医療救護班6名  【医師】…1名 尾前 【看護師】…3名 小野・蓑田・西 【主事】…2名 岩本・東	<b>第2次派遣</b> 熊本赤十字病院へ病院支援	<b>第3次派遣</b> 熊本赤十字病院へ病院支援	<b>第4次派遣</b> 熊本赤十字病院へ病院支援	<b>第5次派遣</b> 熊本赤十字病院へ病院支援	<b>第6次派遣</b> 熊本県阿蘇郡西原村へ健康支援	<b>第7次派遣</b> 熊本県阿蘇郡西原村へ健康支援

## 救護体験記

### 第4次派遣 看護師 山本秀樹

今年の4月に熊本県益城町で震度7の地震が発生した。当院でも速やかに救護班出動の準備が実施され、地震から2日後に第1班が出動した。

自分も熊本復興のため役に立ちたいという気持ちが強まっていた。しかし今自分に出来ることは救護班が出動し、その分の穴を埋めることだと思い、自分の目の前の仕事に集中した。

その後、熊本赤十字病院支援の依頼があり「行きたい」との意思を上司に伝えた。5月7日から1週間(実働5日間)の支援が決定した。不安もあったが支援活動から戻ったスタッフからの情報により不安も軽減した。

現地では災害医療コーディネーターの指示もあり円滑に動く事ができ、支援先の病棟においての活動も患者様のADL介助などで拍子抜けした感じもあったが、支援先の師長より「支援に来てくれたから、病棟スタッフの休暇も取ることができました」との言葉を受けた。またいい経験が出来たと思った。

救護活動とは、その時に応じてどのような救護が必要かが異なり、どのような状況にも応じられるための能力、技術が求められる。

今後も赤十字病院の一員として、どのような状況にでも対応できるようスキルアップに努めていく。



▲医療救護班派遣出発式



▲診療受付



▲救護所内での問診

# 当院の感染対策活動について

～院内感染防止対策委員会～

検査技術課長 西村芳喜

病院内で患者様と職員を感染から守るために感染防止対策は重要となります。当院では、感染防止対策を病院全体で取り組み、病院に関わる全ての人を対象として、院内感染発生の予防と発生時の速やかな対応を行っております。

## 感染対策チーム

当院の感染対策チームは4職種（医師、看護師、薬剤師、検査技師）の計5名で活動しています。活動内容は毎週、各病棟などを巡回し、感染防止対策の確認や指導を行っています。また、感染症が発生した場合は、このチームが主となり拡大防止対策活動の実務を行います。

### 活動内容

1. 院内の感染症発生状況の把握
2. 感染対策の方針決定
3. 全職員対象の研修会の開催
4. 感染管理上の問題点の解決
5. 病棟などの巡回
6. 感染対策マニュアルの作成・改訂



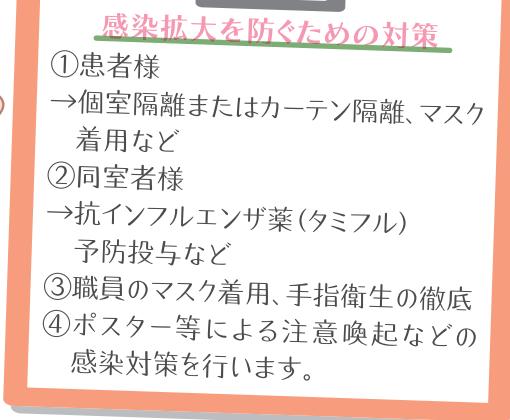
多職種が連携しチームで、感染対策に取り組んでいます。

作成日



手洗い石鹼水の  
作成日記入と  
使用期限の確認を  
しています。

## 入院患者様の感染対策例



## 面会者様へのご協力願い

### 手指衛生は最も重要な感染対策です!!

各病棟などに手指消毒薬を設置していますので、患者様への感染予防のため病室に入りされる際は、手指消毒のご協力をお願いいたします。



### マスク着用のお願い!!

インフルエンザは例年12月下旬から3月までが流行シーズンです。当院では外来および各病棟等にマスクを設置していますので、咳・くしゃみがある方や面会時には、感染予防のためマスク着用のご協力ををお願いいたします。



## 最後に

感染対策は、種々の薬剤耐性菌の出現などにより現在、個々の病院だけではなく、近郊の医療機関を含めた地域全体での感染対策が重要となります。

当院では、福岡市近郊の病院と互いに協力して院内感染対策について取り組んでおります。また、全職員に対して感染対策の啓発活動を行い、院内感染防止に努めています。

# 連携病院リレー紹介

当院では、さまざまな医療機関との連携を大切にしています。このコーナーでは、リレー方式で各医療機関の方に登場していただき、連携について語っていただきます。第1回目は、福岡大学病院です。

福岡大学病院(福岡市城南区七隈)

病院長 井上 亨 先生  
(脳神経外科 教授)

## 【あたたかい医療】・【断らない医療】を実践します

福岡大学病院は、がん治療や救急医療をはじめ高度先進医療に対応できる「特定機能病院」です。

福岡市西南部及び糸島医療圏を中心に、地域の中核病院として患者満足度の高い医療の実践と質の向上に務めると共に、大学病院として幅広い教養と洞察力を持った医療人の育成にも積極的に取り組んでいます。

がん治療の分野では「がん地域連携クリティカルパス」を積極的に活用し、地域の先生と共にがん患者さんの治療にあたっており、手術支援ロボット「ダヴィンチXi」の導入で、内視鏡手術による前立腺がんやその他のがんの治療成績の更なる向上を目指します。

2015年には「福岡・アジアロボティクスリサーチ&HALリハビリセンター」を開設し、スポーツ科学部と協同で、ロボットスーツ(HAL)を用いた脳卒中後遺症や脊椎脊髄疾患及び神經難病などの患者さんに対する外来リハビリを行っています。

また、福岡市の認知症疾患医療センターとして、鑑別診断と初期治療及び専門相談を行い、認知症相談医やサポート医と連携を取りながら、地域で暮らす認知症の患者さんを見守っていく体制を作っています。

今津赤十字病院とは認知症診療における協力病院としての連携はもちろん、内科・精神科の患者さんの診療連携で大変お世話になっており、今後より一層強い連携関係を築いていきたいと思っております。

最後に、当院は地域における救急医療の最後の砦です。24時間365日「断らない医療」を目指し、診療科の垣根を越えた医療体制で地域医療に貢献します。

医療関係者との「顔の見える」連携を進め、ご紹介いただいた患者さんに対しては「あたたかい医療」の提供を心掛けてまいります。福岡大学病院をどうぞよろしくお願ひいたします。

### 認定・指定施設

- 特定機能病院
- 救命救急センター
- 救急病院
- 総合周産期母子医療センター
- 地域がん診療連携拠点病院
- 福岡市認知症疾患医療センター
- 福岡市児童虐待防止医療ネットワーク事業拠点病院
- 災害拠点病院
- 福岡県災害派遣医療チーム(福岡県DMAT)
- 脳死肺移植実施施設
- エイズ治療拠点病院
- 治験拠点病院
- 臨床研修病院(基幹型)
- 外国医師・歯科医師臨床修練指定病院
- (財)日本医療機能評価機構認定病院



▲外観

## 診療案内

- \* 診療科目 内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
- \* 受付時間 (月曜日～金曜日)午前8時30分～午前12時00分及び午後1時30分～午後4時30分
- \* 休診日 土曜・日曜・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、日本赤十字社創立記念日(5月1日)  
※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

### 今津赤十字病院 外来診療担当表

平成28年10月1日から

診療科目		月	火	水	木	金	土	日
内科	午前 初診	市島・横井	横井 美央	関 拓紀	岡村 員裕	横井 美央		
		尾前 豪	藤井 弘二	藤井 弘二	藤井 弘二(生活習慣病)	藤井 弘二		
		納富 昭光	尾前 豪	市島 久仁彦	市島 久仁彦			
	午後(初診及び再診)		古瀬 正徳					
		古瀬 正徳	市島 久仁彦	関 拓紀	岡村 員裕	尾前・古瀬		
精神科	午前 (再診のみ)	田中 和宏	古賀 勝治	勝治 一夫	勝治 一夫	桑野 信貴		
	午後 認知症外来 (新患・予約制)	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫		
		古賀 勝治	畠部 暢三	古賀 勝治		古賀 勝治		

### 病院へのアクセス



#### JRでのアクセス

- \* JR九大学研都市駅下車の場合  
JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。  
(下記時刻表を参照ください)

- \* JR今宿駅下車の場合  
昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩約10分

#### お車でのアクセス

西九州自動車道今宿ICより約10分



#### 無料送迎バスのご案内

JR九大学研都市駅南口前より、無料送迎バスを運行しておりますので、お気軽にご利用ください。

便	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便	第9便	第10便
病院→JR九大学研都市駅南口前	8:55	9:35	10:15	10:55	11:35	12:15	12:55	13:35	14:15	14:45
JR九大学研都市駅南口前→病院	9:15	9:55	10:35	11:15	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:00
運行日	平 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	—	○	○	○	—	—	—	○	—

※平成27年2月1日改正